

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

令和2年度(2021.3.31) エターナルプラスアカデミー福島小倉寺教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95%	5%			・中の様子が見えないので、分からない。・子供たちの分かりやすいスペースになっていた。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	85%			15%	・児童だけでなく、若い先生たちも工夫しながら一生懸命にかかわって下さっているように感じる。・入り口だけのやり取りが多いので先生の配置数などは分からない。・言語聴覚士の口を持っている先生がいてくれるといいなと思った。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	45%			・中の様子が見えないので分からない
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	95%			5%	・ニーズや課題について丁寧に分析し、計画を作成して頂いていると感じる。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	85%	15%			・普段のプログラム以外に、長期休みや休日の「お楽しみ」がとても工夫されている。・子供たちが、いつも同じようなプログラムと言っているため。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	55%	25%		・コロナ禍関係なしでも、交流は難しいと思う。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%			・いつも感謝しています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	80%	20%			・Webで活動記録から、日頃の様子を確認することが出来て大変ありがたいです。共通理解もきちんとできており、個別に「宿題頑張りシート」などを作成して頂き、良く見てもらっていると思う。・いつもその日の様子や質問や相談に丁寧に対応してもらっている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	70%	15%		15%	・本の紹介や貸し出しコーナーなどもあり、参考になります。・コロナ禍で面談など少なくなったので、連絡帳やサービス提供記録などで把握していた。・面談以外でもあると良いと思う。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10%	55%	35%		・コロナ禍で開催が厳しいと思うので、落ち着いたら保護者同士の交流をまた、作って欲しい。・コロナの影響で難しい状況なので仕方ない。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%			・苦情があるのか？分からないので…
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	5%			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	95%	5%			・毎月教室だより「ぶらす」を楽しみに見させてもらっている。
14	個人情報に十分注意しているか	100%				・玄関から中の様子が見えないように工夫されている。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	90%	10%			・最初に説明があった。・防犯については不明でした。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	85%			15%	・月間の予定に書いてあったのと、教室だよりに避難訓練の様子が書かれていた。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	15%			・休みなく毎日行きたいと子供に言われます。行く日をとても楽しみにしています。・すごく楽しんでいる様子が分かります。安心して預けられます。・高学年になると、低学年と一緒に同じトレーニングをあまりやりたくない様です。・高学年の兄はあまり行きたくないようですが、低学年の弟は楽しく通っています。
	18	事業所の支援に満足しているか	80%	20%			・とても満足しています。学ぶ場であると共に、本人にとって安全基地になりつつあるのではと感じています。・本人の思いを傾聴し、助言、指導して頂きまた、保護者のメンタルサポートもコロナの休校中にたくさんしてもらった。ありがとうございます。・家から距離があるのに送迎をしてもらい感謝しています。・家ではなかなかやれないことも、やってもらえ本人も楽しく通っています。・子供だけでなく、私(母)も相談に乗って頂いてとても良くてもらっています。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和2年度(2021.3.31)エターナルプラスアカデミー福島小倉寺教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		・ワンフロアでとても広いので、パーテーションなどを使って構造化し、子供たちが分かりやすく、動きやすい空間づくりを意識している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%		・基準プラス1~2人の加配を常につけている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%	・トイレの入り口が少し狭く、車いすでは利用が難しいので設置者に改善を求めている。他のエリアでは、玄関からバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%		・始業、終業時の30分のミーティングにて、全員が話し合える場を確保共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	・連絡帳や、送り迎えの際に直接保護者様の意向等を伺っている。その内容については、ミーティングやミーティングノートにて、全スタッフが共有できるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		・ホームページのお知らせにて開示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%	・第三者委員会を設けていないため行われていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		・令和2年度は、コロナ禍で公の場での研修は難しかったが、ZOOMなどを利用した専門分野の研修は、時間を見つけて随時行っていた。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		・コロナ禍で、保護者さんも面談に対し抵抗が多くあったようなので、独自のアセスメントシートを作り、内容を記載しそのアセスメントシートのやり取りや、お迎え時にお話を、聞かせてもらったりしながらニーズや課題を分析しサービス等計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		・ヴァインランドを利用しているが、解釈が難しい点もあり、それに代わるものが無いかと考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		・次月、1か月分をスタッフ全員参加でその日の利用者に合わせた活動プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	・出来るだけ曜日固定等にならないように、また内容も変えながら決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%	・放課後の短い時間では出来ない活動や、食育なども交えて様々な方向性からの支援を心掛けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		・集団が難しい利用者に対しては、モニタリングの時期を短くするなどしてサービス等計画の見直しを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		・30分のミーティングの時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		・30分のミーティングの時間を設けている。また、ミーティングノートを作っておりその日、休みの職員も共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		・成長療育支援システムを導入しており、全て記録されている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		・低年齢の利用者に対しては、短期間で見直しチェックをするようにし、必要であれば再度サービス等計画を作り直している。そのほかは、6ヶ月を目安に見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	80%	20%	・意識して、活動や運動の集団療育の場に組み込んでいる。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%	・集団療育となっているので、個別の担当者を付けていないためミーティングや担当者会議の内容を、児発管が会議に参加し伝えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%		・下校時間等は、保護者さんから事業所の方に連絡が来るようになっている。連絡調整等は、学校事務室の先生に連絡することで行えるよう周知されている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			・今まで医療的ケアが必要な利用者がいなかったため判断し兼ねるが、今後必要であれば行っていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%		・コロナ禍で面談や支援会議は難しかったが、電話や記録などの開示で情報共有等を行っていた。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			・まだ例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		・コロナ禍で研修などが中止されているので参加は出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	40%	60%	・通常の学校に通っている利用者さんが殆どなので、特に機会は作っていなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%		・地域の自立支援協議会へは連絡もないので参加出来ないが、放課後等デイサービス事業所連絡協議会には、毎回参加させてもらっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		・子供の様子については、送迎時やお迎え時に特に気になった様子や課題について担当者から伝えて共通理解が出来るようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%	・令和2年度は、コロナ禍という事もあり、開催することが出来なかった。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		・入所時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・職員が対応できない時は、児発が直接内容を伺い、手立てや手法についてお伝えし保護者様の悩み等もお聞きしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	・令和2年度は、コロナ禍もあり開催していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・苦情については、すぐに職員全員が共有し適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		・毎月、教室だより「ぶらす」を発行し、子どもたちの様子や、活動の様子、ちょっとした療育アドバイスなどを載せて全利用者にお渡ししている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%		・訪問者など、施設内に入る際には個人情報についての取り扱い誓約者を書いてもらっている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		・視覚的に伝えるなどして、分かりやすい方法で伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%	・令和2年度は、交流といった活動が難しかったがコロナ禍が終わったら少しずつ地域に開かれた事業所を目指していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		・保護者さんには、マニュアルを受付に置くなどして周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・2ヶ月に1回、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・ふくしま基幹相談センターの職員さんに来所してもらい3月に研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%	・身体拘束に係る同意書を説明し同意いただいている。しかし、個別のサービス等計画には記載していなかったため、必要がある利用者さんには今後計画にも記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		・医師の指示書を利用するほどのアレルギーを持っている利用者さんがいないが、保護者さんの指示でアレルギー対応をしている利用者さんはいます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		・ヒヤリハット報告書が書きにくい様式なので今後、書きやすいものに完全し、小さなことでも書き留めておけるようにしていきたい。